

2010年3月2日

経済理論学会会員各位

大会アンケートと奨励賞候補者推薦募集へのご回答のお願い

代表幹事 柴垣和夫

同封の大会アンケートと奨励賞候補者推薦募集へのご回答にご協力ください。返送は同封アンケートの書式（大会HPからダウンロード可能）にしたがって、なるべくEメールでお願いします。

大会アンケートには（1）会員の住所・氏名・電話番号・Eメール等、（2）共通論題および分科会の報告の応募（別紙 Call for Papers を参照）、（3）会員の過去1年間の著作、などに関する質問が含まれています。

会員名簿のための正確なデータを更新・整備しておく必要がありますので、報告希望がない場合も会員の住所・氏名・電話番号・Eメールアドレス等をご記入ください。

共通論題報告を申し込まれる会員は、自薦・他薦の別、他薦の場合は本人了承の有無、他薦報告者の氏名・所属、①論題、②報告要旨（200字程度）、③関連業績を記入してください。分科会報告を申し込まれる会員は、①、②、③に加えて、④予定コメンテーターの氏名と所属を記入してください。

会員の過去1年間の著作についてお尋ねする趣旨は、会員の著作リストを『経済理論学会ニュース』に掲載するとともに、機関誌『季刊 経済理論』での書評の対象文献を選定するさいに情報の不足を補い、選定の偏りを防ぐことにあります。単著、共著、編著、会員が訳出した翻訳書、会員が深く関わった復刊書も含まれますが、挙げていただく著作は単行本の体裁をとるものに限ることとします。

以上のアンケートについて、共通論題報告の自薦・他薦および分科会報告を申し込まれる会員は、Eメールに件名を、「58回大会報告希望」、その他の会員は「58回大会アンケート」と明記して、大会準備委員会事務局長、若森章孝（[wakamori@kansai-u.ac.jp](mailto:wakamori@kansai-u.ac.jp)）宛に3月31日までにご回答ください（文字編集の便宜上、なるべく添付にせず本文で送信してください）。

とくに郵送による回答（報告の申し込みを含む）を希望される会員は、同封のアンケート用紙に記入して、ご負担ですが同封の返信用封筒に切手を貼って3月31日までお送りください（締切日消印有効）。

別紙同封の「第1回経済理論学会奨励賞募集要項」のとおり、2009年11月22日の会員総会で「経済理論学会奨励賞にかんする規則」が決定され、それにもとづいて「奨励賞選考委員会」が設けられ、第1回の奨励賞の対象となる会員の著作を募集することになりました。同賞候補者の自薦・他薦につきましては、同封の「経済理論学会奨励賞推薦理由書」にご記入のうえ、2010年5月1日から5月31日の間に、〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1、駒澤大学経済学部有井行夫研究室、経済理論学会奨励賞選考委員会宛に郵送してください。

他に「次期幹事一覧」と「入会申込書」を同封しました。後者は大学院生や同僚に本学会への入会をお勧めいただく際にご利用下さい。

以上